

# 東海歴史資料保全ネットワークの紹介 (略称:東海資料ネット) 設立:2020年2月16日



※写真:2024年10月27日のワークショップの参加者(参加者20名)

## 基本情報

【目的と活動】 関係諸機関・諸団体と連携し、歴史資料や広義の文化財の保全を行い、地域社会におけるその活用を実践的に進めるボランティア組織。東海地域(愛知・岐阜・三重・静岡県域)に所在する歴史資料等の保存・継承のため、大規模災害発生時の対応および災害発生に備えた歴史資料等の保全・活用に資する活動を行う。

【会 員】 正会員(会費1,000円、総会議決権あり、現在59名)、サポート会員(会費不要、総会議決権なし、現在5名)

【組 織】 総会(活動方針と予算、決算等の必要事項を決定)、役員会(代表委員、副代表委員、運営委員、監査委員)、事務局(名古屋大学大学院人文学研究科日本史学研究室に置く)

【HP / X】 <https://tokaishiryonet.wixsite.com/website> <https://x.com/tokaishiryonet>

## 主な活動履歴

- ◆2020年5月25日:  
愛知県豊橋市のM氏からの要請を受け、同氏所蔵史料の概要調査を行った(その後、愛知大学で目録を作成し、M氏の希望により自宅で保存することになった)。
- ◆2020年6月13日:  
愛知県稲沢市のI氏からの要請を受け、同氏所蔵資料の概要調査を行った(中部大学で目録作成の予定)。
- ◆2020年6月27日:  
名古屋市I氏からの要請を受け、同氏所蔵資料の概要調査を行った(その後、資料の一部が名古屋 市博物館に寄贈されることになった)。
- ◆2020年9月:  
大阪のO氏から、愛知県一宮市の家に保存されている資料について相談を受け、概要の聞き取り調査を行った(その後、一宮市尾西歴史民俗資料館がその一部を受け入れた)。
- ◆2020年10~11月:  
名古屋市S氏より、両親所蔵の資料について相談を受け、資料の概要調査を行った(その後、名古屋市博物館が その一部を同館が受け入れることになった)。
- ◆2021年6月12日:  
松下正和氏を講師に招き、オンライン講演会を行った。
- ◆2021年10月:  
岐阜県郡上市のN氏から、N家所蔵品について相談を受け、郡上市と対応を協議した(その結果、同市歴史資料館等が同家の調査を行うことになった)。
- ◆2024年4月8日:  
Y家の要請を受け、愛知県稲沢市Y家所蔵資料の概要調査を行った。
- ◆2024年9月16日:  
中部大学との共同作業として、稲沢市Y家資料を搬出し、整理作業のための一時保管先として中部大学に移動した。
- ◆2024年10月~12月  
中部大学人文学部歴史地理学科との共催で、ワークショップ「歴史資料の保全作業を体験してみよう!!」を3回にわたって開催した(10月27日、11月17日、12月1日)。

## 稲沢市Y家資料に係る活動

愛知県稲沢市のY家(戦前までの地主)において、老朽化で取り壊すことになった土蔵等から、近世後期から昭和期にかけての資料が見つかった。Y家の要請をうけて2024年4月に概要調査の結果、大変貴重な歴史資料群であることが分かった。

この結果を踏まえ検討の結果、Y家資料の整理作業を行うため、中部大学人文学部歴史地理学科の了解を得てそこを一時保管先とし、同年9月16日に救助と搬入を実施した(上の2つの写真)。

また、Y家資料の整理作業を進めるとともに、資料救助作業についての市民の理解を深めるため、同年10月から12月にかけて3回のワークショップを実施し、襖裏貼り文書の剥離と現状記録の作成、剥離した資料へのナンバーリングと収納などを行った(下の2枚の写真)。

